

# 岡山大学全体の経営改革のビジョン

2019~2021

岡山大学ビジョン2.0  
岡山から世界に、新たな価値を創造し  
続けるSDGs推進研究大学

2022~2027

岡山大学ビジョン3.0  
ありたい未来を共に育み共に創る研究大学

~2050

長期ビジョン2050  
地域と地球の未来を共創し、  
世界の革新に寄与する研究大学

## 2019年度SDGs大学経営



- SDGsへの貢献を大学経営の中核に位置付ける
- 教育研究・産学共創を一体的改革
- マルチステークホルダー・エンゲージメントを強化
- 大学の特色と強みを際立たせた新たな事業モデルを展開し、「財源の多様化」・「自律的な大学経営」を実現

## 第4期に向けたイノベーションエコシステムを加速する大学経営の新機軸

■ 国立大学イノベーション創出環境強化事業 (2020~2021年度)  
・リソースを収益に転換する意識改革  
・イノベーション創出を起点とした民間資金の獲得

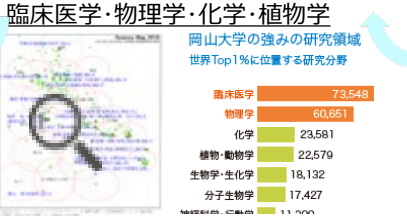
■ 国立大学経営改革促進事業 (2021年度)  
イノベーション・エコシステム構築に向けた大学収入構造改革  
～医療分野へのリソース集中による社会課題の解決～

## 収入構造改革(財源の多様化)

運営費交付金・授業料・病院収入・産学連携収入4区分の比率を変える



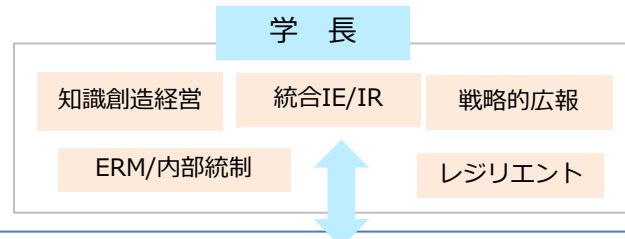
## 強み! (研究IR)



## ハイブリッド型大学経営改革

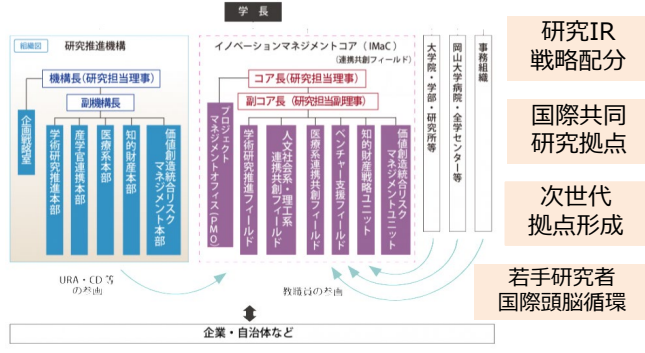
### 価値創造ナレッジマネジメントオフィス（仮称）の創設

学長直轄で、大学経営戦略・戦術を企画立案・実働・指揮調整するアジャイルな組織。新事業や不確実性が高く知識創造が必要な業務・事業が対象



## 2022年度 I M a C 発展・拡充

プロジェクトベースで、教員・事務職員・URA等がIMaCというフィールドに集い、プロジェクトマネジメントを行いつつ、「組織」対「組織」の共創活動を実施。Innovation Management Core



- 「強みは、“さらに強く”・“高く”」「特色を“より極める”」
- 知と資金の循環により研究地盤強靱化
- 研究マネジメント人材改革

## ◆経営分析に基づく戦略的収入構造改革

## ◆地域共創・地域変革をデザインする地方総合大学として社会インパクト



2022年3月岡山県吉備中央町  
デジタル田園健康特区指定

## ◆アジャイル型オープンラボ「岡大DXコア」をモデルに共育共創の大学院改革へ



## ◆国際研究拠点形成の深化・発展

若手の挑戦的研究・国際頭脳循環を支援  
強みに集中投資して研究環境を整備  
若手・女性・外国籍等多様な人材の招聘

- RECTORプログラム
- 国際構造生物学拠点
- 研究教授等 制度
- 若手研究者支援PKG

「リュウグウ」に大量の有機物が存在か

クライオ電顕  
2023年度学内経費で購入

# 取組 1 : 知識創造経営システムの充実強化 「価値創造ナレッジマネジメントオフィス」の創設・運用

学長

## 組織イノベーションの加速化

「ウォーターフォール型組織」に「アジャイル型組織」を組み合わせて組織の機動性を加速させる

※R4は準備室設置、R5にオフィス設置。R6～R7に本格運用

アジャイル型組織

IMaC\*

\* Innovation Management Core

連携・協働

## 価値創造ナレッジマネジメントオフィス (仮称)

大学経営の戦略・戦術を企画立案する実働する指揮調整 (参謀) 組織

室長 : 学長指名の役職員  
専任 : 1人+a (新規)

知識創造経営  
コア

暗黙知を形式知化  
ISO30401:2018  
ISO56002:2019対応

統合IE/IR  
コア

意思決定支援から財務計画・戦略計画の策定へ  
戦略マップに基づく経営分析、リスク分析、事業影響分析等を統合

戦略的広報  
コア

ブランドマーケティング、リスクコミュニケーションの深化  
R3イノベーション創出環境強化事業・国立大学経営改革促進事業深化

ERM/内部統制  
コア

ERMの全学展開/ノウハウの提供  
R3イノベーション創出環境強化事業・国立大学経営改革促進事業深化

レジリエント  
(縮災) コア

防災教育訓練の社会還元  
R3国立大学経営改革促進事業深化

【新規】

### <IMaC方式>

各運営組織や部局等に所属・関与する教員・職員がエフォートを切って参画

ウォーターフォール型組織

教育推進機構

研究推進機構

有機的連携

安全衛生推進機構

その他運営組織・事務組織

- ウォーターフォール型は、プロダクトの要件や仕様が明確で変更がない場合は複雑性が低く、きっちりと計画し予定通りに開発を進めていくのに適す。
- アジャイル型は、世の中の状況が変化し、プロダクトの要求が変わるといった複雑性が高い場合、プロセスを反復しながら徐々に成果を積み上げ、失敗を学びに変えて、都度見直しながら開発を進めるのに適す。
- 本学は、複雑性の低い案件はウォーターフォール型で、複雑性の高い案件はアジャイル型で、学内の叡智を集め課題を解決するIMaC方式に移行する。

- 高度マネジメント人材 (URA・広報・リスクマネージャー・IR) の整備
- 教員 (研究者) ・事務職員からの高度マネジメント人材へ登用可能な人事・給与制度改革
- 次世代を担う、若手教員 (研究者) ・事務職員・技術職員が「未来構想」・「経営」に参画

○ 研修受講者のうち業務執行上、役立つと回答した者の割合

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
30%	50%	60%	70%

# 取組2：医療系分野における外部資金獲得策の拡充

- ・超高分解像度生体試料解析医療機器の利活用促進
- ・唯一無二の解析システムによる研究の強み

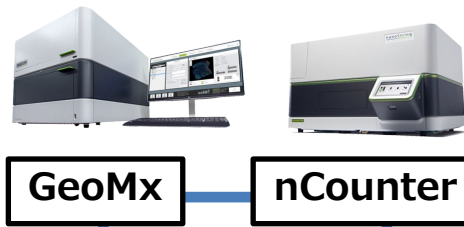


ゲノム中核拠点を中心に、研究内容（プロジェクト）にあわせ既存組織にとらわれず、PIのビジョンのもと、本学研究者と共同研究機関（医療機関・企業）の多職種スペシャリストが有機的に連携

\*がん免疫療法のカギとなる腫瘍微小環境の解明や、がんのクローン多様性、治療抵抗性の解明、ゲノム編集や遺伝子導入における1細胞レベルの測定などリバーストランスクリプションリサーチの推進に大きく貢献。



スピード感をもった**アジャイル型開発**による未来医療の推進



GeoMx

nCounter

**OUGeoシステム（仮）**  
（国内、唯一無二の解析システム）



CODEX

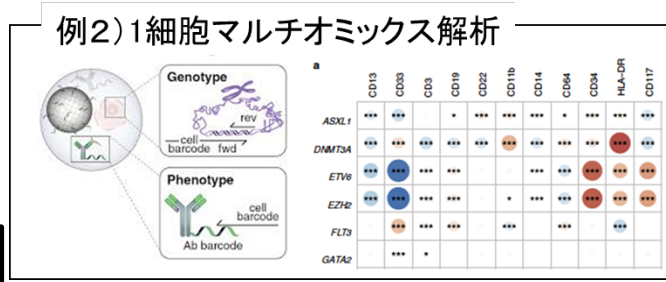
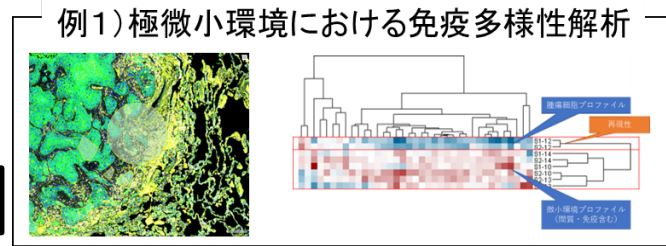
Tapestri

「AMEDゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム」（年間約8,000万円）に令和3・4年度連続採択！重点配分された先端解析設備とそれに基づく理論・解析技術、独自性の仮説が高く評価。（唯一無二のシステムと研究力が外部資金獲得へ好影響！）



強化のポイント

- ① 専従の技術職員を配置  
⇒ 安定稼働+データ処理能力の大幅な増加
- ② プロジェクトマネージャーを配置  
⇒ SOP管理+研究効率・データの品質の向上
- ③ シングルセルライブラリー作成機器⇒最先端の解析制度の実現



デジタル田園都市 国家構想の推進

岡山医療センター

川崎医科大学病院

倉敷中央病院

岡山赤十字病院

岡山大学病院  
がんゲノム医療中核拠点病院  
臨床研究中核病院

岡山県内の全てのがんゲノム症例が集まる  
↓  
岡山県がん患者ゲノムコホート

DNA ゲノム情報  
RNA 遺伝子発現情報  
Protein タンパク質発現情報

マルチオミックスデータの収集

岡山がんゲノム デジタルバイオバンク

ゲノム医療総合推進センター  
Center for Comprehensive Genomic Medicine

岡山大学病院  
岡山バイオバンク

医療DX令和ビジョン2030への貢献  
次世代型がんマルチオミックス医療の開発  
デジタルバイオバンクの構築と利活用

①外部資金獲得額の増加 (千円)			
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
50,000	65,000	80,000	100,000

②受託解析業務の増加 (千円)			
令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
10,000	15,000	20,000	25,000



# 取組3：国際研究拠点形成（RECTOR）プログラムの進化・加速化を核とした「研究力PowerUp戦略」

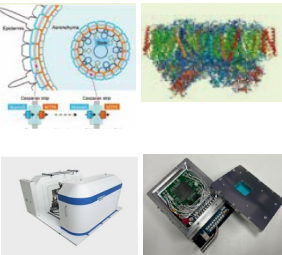
## 取組4：Mission・Projectベースオープンラボの構築

### ■ 大学改革促進のための国際研究拠点形成プログラム（RECTOR）の進化・発展を核とした「研究力PowerUp戦略」

～海外の優れた研究者を招へいし、国際共同研究を促進のなかで若手TOP研究者育成・国際頭脳循環～

#### 第Ⅰ期：2019～量子コヒーレンス・光合成・分子イメージング

主なアウトカム		
項目	2019-2021実績	対2016-2018増加数
論文数	184報	72報 (64%増)
国際共著論文	117報	54報 (86%増)
TOP10%論文数	36報	22報 (157%増)
Q1ジャーナル論文数	150報	68報 (83%増)
外部資金獲得額	635,517千円	<b>196,914千円</b> (45%増)



#### 2021年版「世界で最も影響力のある科学者に選出」

沈建仁教授 馬建鋒教授 山地直樹准教授  
 ※投資額（144,067千円）に対し、**+52,847千円**  
 （イノベーションエコシステムの“芽”）

#### 第Ⅱ期：2020後半～

##### 新進気鋭の若手研究者の活躍

「宇宙物理」  
 国際共同研究プロジェクト  
 「CMB-INFLATE」に参画

「トランスクリプトーム」  
 病態解明・新規治療開発のための空間解析を含むマルチオミクスデータベース構築  
**AMED大型資金獲得**  
 (2021・2022年度)  
 創発研究獲得

①Rectorプログラム拠点における直近5カ年のTOP 10%論文数 (本) ②Rectorプログラム拠点関連の外部資金獲得額 (千円)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
69	76	79	86

### PowerUp!

研究の強みに対し **リソース集中**  
**「クライオ電顕」**  
 (2023年度学内経費で導入)  
 先端設備を核に他分野の研究者が集結  
**国際構造生物学拠点形成**

強みの分野を核に組織の枠組みを超え、  
**若手研究者がアジャイルに研究参画**  
 →破壊的かつ挑戦的な研究を推進  
 (異分野融合研究)

RECTORプログラム (5拠点) **追加 追加**

若手研究者の可能性を伸ばす  
**I Ma Cのマネジメント**

## Mission・Projectベースオープンラボの構築

DXをキーワードに学内外の多様な人材が融合する場

**Mission・Projectベース  
 アジャイル型オープンラボ**

おかやま IoT・AI・セキュリティ 講座  
 Open Laboratory

おかやま AI・セキュアIoT 共創コンソーシアム  
**OASIS**  
 Okayama AI-Secure IoT Consortium

セキュアDX人材育成  
 DX技術力の底上げ

多様な実践フィールド  
 共創共創・SDGs  
 アジャイル開発

共同研究・PoC検証  
 アイデアソン・ハッカソン  
 逆インターンシップ



一芸に秀でた者・出る杭を  
 引き伸ばす

小中高大連携  
 若手DX人材育成  
 活かした情報教育

起業家精神育成  
 Campus Venture GP  
 学生ベンチャー

学部 → 修士 → 博士  
 WAAPプログラム  
 攻撃型セキュリティ  
 White Hacker

サイバーフィジカル情報の応用研究拠点  
 Cyber-physical Engineering Informatics Research core  
**Cypher**

【Special UNIT】  
 データサイエンス部  
**D.S.EP**

岡山大学  
**起業部**  
 Co-creation

### 自立・躍動する 人材育成エコシステム

研究者、職員、学生が組織の垣根を越え、  
 産・官・金、小中校生も**岡山大学DXを舞台**  
 に個々の知技を磨き上げる。(異分野・異文化・異社会連携)

① 寄付講座・受講料収入 (千円)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
3,000	5,000	5,000	8,000

② DX関連共同研究費収入 (千円)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
2,000	5,000	5,000	7,000

